

平成27年度 第3回大学地域連携強化プラン懇話会 会議録（案）

- 日 時：平成28年2月12日（金）10時00分～11時45分
- 場 所：市民交流センター 5F 小会議室2
- 出席委員：青木委員、加藤委員、小沢委員、肥塚委員、齋藤委員、武田委員、
近清委員、二神委員、福井委員、堀江委員
- 事務局：山本副部長、溝内参事、林沼主査
- 傍聴者：無し

1 開会

【事務局】

お忙しい中、懇話会にご出席いただきありがとうございます。この懇話会も3回目になります。まちづくりのために産・学・公・民の連携のための場であるアーバンデザインセンターにつきまして、その有効性や必要性について検討してまいりました。本日は来年度以降の運営や今後のスケジュールについて皆様からご意見を頂きたいと考えております。よろしくお願いいたします。

2 委員自己紹介

前回まで欠席だった委員の自己紹介

3 第2回会議録の確認

【事務局】

- ・この議事録は、皆さんの承認が得られたのち、ホームページに公開します。

了承された。

4 草津版アーバンデザインセンター（UDC）の概要（案）について

【事務局】

<資料4に基づき説明>

5 意見交換

【座長】

- ・まず、組織と運営体制について、ご意見を頂きたい。

【A 委員】

- ・UDC の役割や目的（シート 11・12）が書かれているが、理念が見えない。

【B 委員】

- ・シート 12 に「目的」とあるが、「効果」にしてはどうか。
- ・シート 11 と 12 の整理が必要である。

【A 委員】

- ・社会実験(案)（シート 17）について、この案では大学にお任せになっている。
- ・地域に住んでおられる人が中心になる必要がある。組み立て方を見直す必要がある。

【C 委員】

- ・他の UDC の組織形態を見ると、各主体の動きがはっきりしているが、草津は明確ではない。議会に理解してもらえないのではないか。
- ・運営体制(案)（シート 8）で、「民」と「公」の分け方を見直すべきである。コミュニティ事業団は「公」でよいのか。「公」の定義をはっきりすべきである。

【座長】

- ・「民」・「学」・「公」の見直しが必要である。

【D 委員】

- ・シート 3 に「新たな活動の可能性を引き出せる組織」とあるが、どのような活動なのか明確にイメージできない。こんな展開ができるというものを示してほしい。
- ・中間支援団体 NPO がなくなるとなぜうまくいかないのかが分からない。

【事務局】

- ・UDCK では、当初市民活動団体がメンバーに加わっていなかったため、居場所づくりのための活動がうまくいかず、市民活動団体に協力を求めている。このことから、草津では当初から市民活動団体を入れていきたいと考えている。

【座長】

- ・「新たな活動」についてどう考えるかは整理が必要である。

- ・市として、南草津を軸にしたまちづくりの具体的な計画はない。UDCはその中の具体的な事業の一つである。今後引き続き議論していく必要がある。

【E 委員】

- ・シート5の分担金について、確認したい。UDCを運営していくためには、予算が必要である。企業の場合、当初は分担金を出せても継続的に支出するのは難しい。

【座長】

- ・分担金と事業費は違う。草津はどのように考えているのか。

【事務局】

- ・法人化に向けて分担金は市だけではなく、各主体に負担していただきたいと考えている。
- ・平成29年度からは、事業費や人財等を皆さんに負担してもらいたいと考えている。企業もいろいろな活動が可能であるため、事業をする場合は事業費を負担してもらいたい。
- ・詳細については今後調整していきたい。

【座長】

- ・組織形態として任意団体は考えていないことを確認したい。

【事務局】

- ・一般社団法人で考えている。

【座長】

- ・UDCの活動で調査研究が重要であるとの説明であったが、交流が先ではないか。

【E 委員】

- ・情報発信として、えふえむ草津は理解できる。さらに、BBCとの連携も重要であるとする。県内に広く発信していく必要がある。

【F 委員】

- ・未来創造セミナーの参加者がすでにBBCに出演している。連携は可能である。

【G 委員】

- ・人口減少に関連するものなど、少し長期的なリスクについて、大学や企業が知見を持ち寄って考えることも必要である。

【座長】

- ・ほかに全体的に見てご意見はありませんか。

【G 委員】

- ・説明に活動案として記載されている事業について、平成 28 年 10 月からすべてを実施することは難しいのではないかと。どれから取り掛かるのか。

【事務局】

- ・調査研究については、オープンデータに関する調査研究を行います。
- ・交流事業については、説明資料にあるものすべてを実施予定です。
- ・社会実験につきましては、4 月から 5 月にかけてスタートしたいと考えています。

【C 委員】

- ・草津市の総合戦略には、UDC は検討するとあるが。

【事務局】

- ・様々な事業について予算要求を行っており、UDC の設立に向けて動いています。
- ・市議会に対しましても、12 月の総務常任委員会協議会でこのことにつきまして説明いたしました。

【A 委員】

- ・UDC の運営に市民がどのようにかかわるのか。

【事務局】

- ・組織の構成団体に加わってもらいますが、管理運営に市民は入ってもらうことは考えていません。
- ・どのように運営していくかは、4 月から 9 月にかけて開催予定のワークショップで考えていきたい。

【H 委員】

- ・私の会社ですでに市民の方を対象とした様々な事業を行っている。これらの事業を UDC でできるようにしたい。

【E 委員】

- ・一般社団法人では資金を集めることなどで制限があると思うが。

【事務局】

- ・お金を集めることは考えていない。一般社団法人として活動するばあいに何が可能でどのような制限があるのか検討し、整理します。

【D 委員】

- ・この懇話会の今後のスケジュールはどう考えているのか。

【事務局】

- ・平成 28 年 4 月から 9 月まで引き続きこの懇話会で議論していただきたいと考えています。
- ・10 月以降に準備委員会を設け、平成 29 年度からは運営委員会を設置します。

【座長】

- ・様々な意見ありがとうございました。今日の意見を踏まえ、整理して回答していただきたい。

6 閉会

【座長】

- ・それでは本日の意見交換はこれで終わります。

7 今後の予定について

【事務局】

- ・ありがとうございました。次回、本日の意見を踏まえ整理します。
- ・今後ともよろしく申し上げます。

以上。